

## 書誌作成と文献探偵

メタデータ	言語: jpn 出版者: 明治大学司書・司書教諭課程 公開日: 2022-05-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 明治大学図書館情報研究会 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10291/22491">http://hdl.handle.net/10291/22491</a>

〈研究会例会〉

## 明治大学図書館情報学研究会 第2回例会報告 「書誌作成と文献探偵」

日時：2021年12月11日（水）10:50～12:30

会場：和泉キャンパス M303 教室

中西 裕 （明治大学司書講習 講師）  
齋藤 泰則 （明治大学文学部 教授、開会挨拶）  
三浦 太郎 （明治大学文学部 教授、司会）

2021年12月11日（土）、「2021年度明治大学図書館情報学研究会第2回例会」が明治大学和泉キャンパスメディア棟にて開催されました。今回の例会では、「書誌作成と文献探偵」と題し、中西裕氏にご講演いただきました。本学の司書課程受講生を中心に27名（学生24名、一般3名）が参加し、本学司書課程・司書教諭課程の齋藤泰則氏の開会挨拶ののち、中西氏の講演に移りました。



はじめに、中西氏はこれまでの経歴とともに書誌編集に関わってきた『日本古書通信』や「レファレンスクラブ」、『書誌年鑑』について紹介されました。書誌とは「文献のリスト」であり書誌データや書誌事項とは異なること、また、「一覧性」が特徴であると説明されました。書誌データは主に図書館で収集し、

お一人で編集作業をされていたそうで、実際に出来上がった書誌からは細やかな工夫や長きに渡る苦労を垣間見ることができました。

また、講演後半は「文献探偵」と題し、筆名から著者を確定していく作業についてもご紹介いただきました。シャーロック・ホームズなどの翻訳家で知られる「延原謙」を例に挙げ、「天岡虎雄」や「小日向逸蝶」、「大井六一」などの筆名が延原であるかどうかを検討した経緯を詳細にご説明いただきました。作品やインタビュー記事を比較するだけでなく、延原が所属していた学会の名簿や住所などにも筆名のヒントが隠されており、それを紐解いていく様子はまさに探偵そのものでした。

講演後の質疑応答では、書誌データ収集の具体的な進め方に関する質問が寄せられ、講演全体を通して実際の書誌編集の様子や、筆名から著者を確定するまでの過程など、とても緻密な書誌の世界について知ることができました。講演者・参加者の皆さま、ご協力ありがとうございました。

文責：松野 南紗恵（明治大学大学院）